

申1号「労働条件向上と職場環境改善をめざす申し入れ」④

【第5項】利府駅のイベント対応時の要員体制を強化すること。

【回答】利府駅が最寄りとなるイベント開催時における必要な要員は、その都度検討し配置している。

ポイント：イベント情報を緻密に相談し要員配置をJR東日本と連携して行うことを確認！

【第6項】お忘れ物センターの本来業務をスムーズにできる体制を整えること。

【回答】混雑時等における「お忘れ物センター」内の相互助勢については検討していく。

組合の主張

- ・仙台お忘れ物センターは立地的に「問い合わせや案内」が非常に多いため、本来業務に集中できる体制を確保すること。
- ・出向社員によってはパソコンや接客が不得手な方のために、教育の充実など配慮を行うこと。

会社回答

- ・お忘れ物センターは、非常に混雑する時間帯はあるのを承知している。手すきの社員がいれば応援にいけるようにしたい。少しでも落ち着いてできる体制については考えて行きたい。
- ・お忘れ物センター単体では、道案内所ではないとなるがJRの仕事を請け負っている以上必要である。そのため、阻害になっている事はどのような姿が望ましいのか現場の意見も聞きながら検討したい。

【第7項】遺失物の捜索に関して、速やかに対応するためにシステム入力体制を強化すること。

【回答】遺失物の発見・届出のタイミングによっては、遺失物システムへの入力が即座に行えない場合があり、その体制を強化することは困難である。

組合の主張

- ・遺失物全般に課題があり問題が山積している。
- ・遺失物システム入力箇所により、入力時間のタイムラグがり、問い合わせに時間がかかる。首都圏は入力専門担当がいると聞いている。遺失物をスムーズに入力できる体制を強化すること。

会社回答

- ・遺失物全般として苦勞していただいていることは理解している。
- ・会社として、一点目は受託駅で何が出来るのか。JRも含めて何が出来るのか。それからお客様への啓蒙活動などの三点で対応するために、相談していきたい。
- ・タイムリーな入力は難しいかもしれないが、息の長い取り組みだと考え出来ことから対応する。